

7月豪雨災害の減災活動を高く評価 内子町消防団に内閣総理大臣表彰

「令和元年防災功労者内閣総理大臣表彰」の表彰式が9月20日、総理大臣官邸で行われ、内子町消防団（篠崎耕太郎団長以下、786人）に表彰状が贈られました。同表彰は災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施などで

貢献し、特にその功績が顕著であると認められる個人・団体に贈られます。篠崎団長は「平成30年7月豪雨災害の水防活動などが評価されたもので、団員の献身的な活動の賜物。さらに気を引き締めて地域を守る活動に邁進したい」と述べました。



表彰式に出席した篠崎団長が安倍晋三首相と記念撮影

茨城国体・ライフル射撃競技 2種目入賞で恩師と家族に恩返し



大きな勲章を抱えて笑顔を見せてくれた福岡さん

「第74回国民体育大会『いきいき茨城ゆめ国体』のライフル射撃競技が10月4～7日、茨城県桜川市で行われ、福岡希実さん（伊予農業高校2年）＝内子11＝が、少年女子チーム・ライフル立射60発で7位、同30発で6位に入賞しました。

国体で初入賞を果たした福岡さんは「大きな大会で結果を残せていなかったので、支えてくれた皆さんにやっと思返しができた。目標は鹿児島国体で3位に入賞することなので、これからも練習に励みたい」とさらなる活躍を誓いました。

練習で積み重ねた英語力を披露 「内子町中学校英語弁論大会」

「第18回内子町中学校英語弁論大会」（内子町教育委員会、（公財）内子町国際交流協会主催）が9月27日、内子座で開かれ、町内4つの中学校から13人が出場しました。

上位入賞者と弁論タイトル

1位	松森 羽菜さん（小田中3年） 「My sister」
2位	宇田 風咲さん（内子中3年） 「I must do what I want to do」
3位	清水 未来さん（内子中3年） 「Experiences change your life」

※1位の松森さんには海外派遣事業の派遣団員になれる権利が与えられます。



上_テニスと友情について力強くスピーチした都築知宏さん 下_大会に出場した生徒の皆さん

内子のミライをつくる総合計画 策定チームが活動成果を発表

内子町の総合計画後期計画策定チームによる報告会が10月16日、町民会館で行われました。

令和2～6年度のまちづくり計画で、住民と役場の若手職員が環境や防災など8つの分野でチームを作り、7月から計画の中身を協議しています。

アドバイザーを務める法政大学名誉教授・岡崎昌之さんは「総合計画はまちの決意表明。それを住民と職員が作るのは画期的。さらに深めて内子のミライを広げて」と講評しました。計画は関係機関などとの調整を経て、3月末までに完成します。



内子の「ミライ」を考える8つのチームが研究活動などの成果を発表した

今年の舞台は一味違う 「茂山狂言内子座公演」

「茂山狂言内子座公演」が10月5日、内子座で開かれました。第1部では内子こども狂言くらぶが登場。「口真似」や「しびり」、内子町を舞台にした新作狂言「かみあそび」などを披露しました。同くらぶは発足して6年目。女子だけの小舞や高校生になったメンバーの演目など、円熟の域に達した舞台で会場を沸かせていました。第2部では茂山千五郎

家が、人気の演目「附子」の他、初めて設置されたスイーツ特別席にちなんで「栗焼」を上演しました。「栗焼」は、太郎冠者が主人の命に従い囲炉裏で栗を焼きますが、あまりのいい匂いに誘われ栗を全部食べてしまうという話。観客からは「狂言とスイーツを一緒に楽しめてよかった」「子どもたちも頑張っていて、素晴らしい公演だった」との声が聞かれました。



上_かわいらしい「口真似」で会場を笑わせた
下_内子座公演では初めての上演となる「茶壺」

戦争の悲惨さ平和の尊さを後世へ 「内子町戦没者慰霊祭」



厳粛な式典が挙行され、参列者一人一人が祭壇に献花した

戦争で亡くなった人の冥福と永遠の平和を祈念する「内子町戦没者慰霊祭」が10月11日、内子東自治センターで執り行われました。

開式前に鶴田俊英さんの、空襲の記憶や終戦直後の思い出をつづった「戦争の記憶」を朗読。式で

は稲本隆壽町長が「戦没者の方々、残されたご遺族の悲しみに思いをはせ、平和の尊さを次世代に語り継ぎたい」と追悼の言葉をささげました。参列した遺族など105人が、1026柱の御霊に献花し、平和な世界を築く決意を新たにしました。